

ばらぐみだより

R4. 7. 1

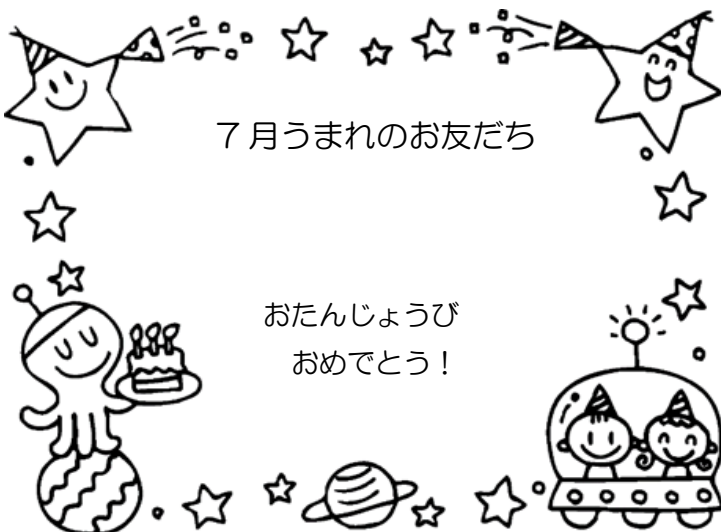
早くも梅雨が明け、暑い日が続いています。毎日園庭にある大きなプールに入れることを楽しみにしている子どもたち。終わった後も「楽しかった」「もっと入りたい」という声が多く聞かれています。

最近のばら組の子どもたちは少しずつ友だちに関心が出てきて、2～3人でごっこ遊びをしたり、同じ所で好きな遊びをする中で「一緒にブロックを繋げよう」等の声が聞かれるなど、友だちと一緒に遊んだり関わる姿が見られるようになってきました。しかし、関わりが増える中で、まだ思いを言葉で伝えることが出来ずトラブルになることも多くあります。面談の中でも「友だちと仲良く遊んでいますか？」等、友だちとの関わりが気になる声も保護者の方から聞かれました。この年齢の頃は自分が遊んでいるものや使っているものは「自分のもの」という意識(自我)が強くなります。この時期に相手が何をしたいと思っているのか、何をされたら嫌なのか等察したりすることは難しく、また、自分の思いをとっさに言葉で表現することもまだ難しい時期です。この「自分が自分が」の時期が過ぎると、今後友だち同士で遊ぶことが楽しく感じるようになってきます。その中で他の子がやっていることを見て互いに刺激を受け、時には憧れの気持ちを抱きながら難しいことにも挑戦していくようになります。遊びが進んでいくうちに何かを「一緒にやりたい」「一緒につくりたい」という気持ちも芽生えてきます。また、一緒に行う中でそれぞれの思いがぶつかり合い、「どうしてもやりたい」「ここは譲ろうか」「やっぱり嫌だ」などの複雑な感情(葛藤)を抱くことも経験します。このような経験を通して気の合う友だちを見つけ、「この子と一緒に遊びたい」「この子と一緒にこんなことがしたい」といった気持ちも抱き始めます。今後はグループ活動を多く取り入れて、さまざまな友だちと関わりを持つことが出来るようにしていこうと思います。



- <今月のねらい>・保育者や友だちと一緒に夏ならではの遊びをする。(プール、水遊び等)
- ・食具を正しく使う。

<今月の活動予定>プール、感触遊び(泥、泡、氷等)、色水遊び、製作、体育指導



7月うまれのお友だち

おたんじょうび
おめでとう!



プールが始まり新しい持ち物も増えました。全ての持ち物には名前の記入をお願いします。(洋服以外にもバックやコップ等記名がなかったり薄くなっているものもあるので、今一度ご確認ください)新しい持ち物になった際は「〇〇が新しくなったよ」等と自分の物が分かるようにお子さんと確認をお願いします。